

泌尿器科

安全性・根治性・低侵襲性を担保しつつ、QOLの向上を目指す医療へ

対象としている疾患 得意分野

悪性疾患：主に腎がん 腎盂尿管がん 膀胱がん 前立腺がんを取り扱っています

良性疾患：

尿路結石(腎結石 尿管結石 膀胱結石)：レーザーやリソクラストを用いて碎石します

前立腺肥大症：投薬治療や外科的治療を行います

尿失禁：投薬治療の他、ボツリヌストキシン注射や尿失禁手術にも対応しています

尿路感染症

骨盤臓器脱：保存的治療の他、手術療法も積極的に行っています



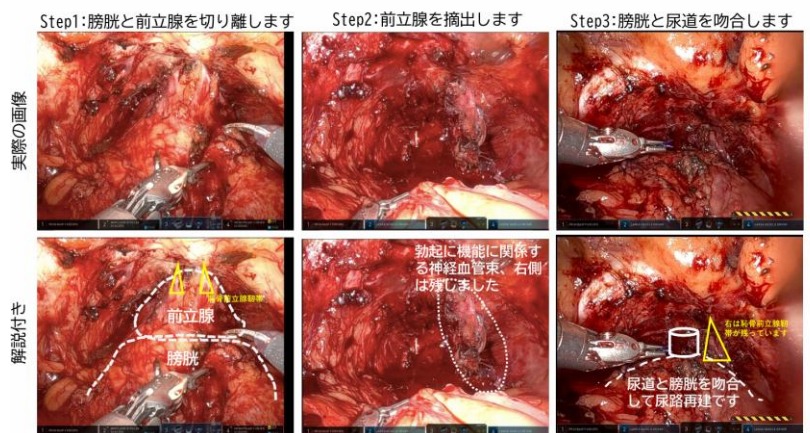
前立腺がん

がん制御と良好な QOL を両立させた前立腺がん治療をしています

良好な視野、多関節鉗子による施術正確性と安定性のおかげで、初症例から輸血不要、骨盤構造物の温存・再建・補強による尿禁制の維持、がんの良好なコントロール、が可能となりました。

勃起機能温存を目指し、神経温存にも積極的に取り組んでいます。

前立腺全摘の流れ

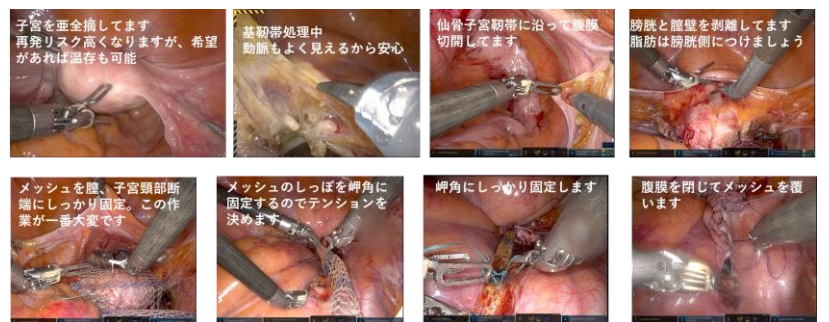


骨盤臓器脱

骨盤臓器脱に対して、ロボット支援下仙骨固定はしっかり優しく臓器を持ち上げます

骨盤臓器脱に対し、伝統的な膣式子宮全摘+前後膣縫縮術等の Native Tissue Repair(NTR)、下垂した臓器を膣から挿入したメッシュで支える Tension free Vaginal Mesh (TVM)手術に加え、より精度が高く、長期治療成績が安定しているロボット支援下仙骨固定術(Robot-Assisted Sacrocolpopexy, RASC)も取り入れています。

ロボット支援下仙骨固定術の流れ(前壁のみシングルメッシュの例です)



前立腺肥大症

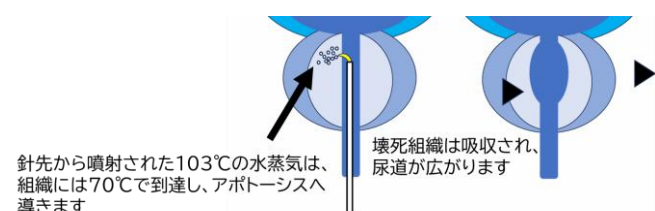
前立腺水蒸気治療(Water Vapor Thermal Therapy)はカテーテル抜去目的の手術に有用です

留置カテーテル管理中の症例に対し、経尿道的前立腺切除(TURP)を施行したときと水蒸気治療(WVTT)したときでの、カテーテル抜去成功率を比べました

	TURP N=21	WVTT N=22	P
Operation time, min, mean	72.0 ± 26.6	13.2 ± 8.8	<0.0001
Hospitalization period, days, mean	9.9 ± 7.6	3.3 ± 1.1	<0.0001
Successful TWOC			
1 month, N (%)	20 (95.2%)	14 (63.6%)	0.02
3 months, N (%)	20 (95.2%)	19 (86.3%)	0.61

前立腺水蒸気治療(Water Vapor Thermal Therapy, 日本では WAVE の呼び名が知られています)は、カテーテル抜去成功率において、術後 1 か月の時点では経尿道的前立腺切除(TURP)に後れを取りましたが、3 か月目には追いついて有意差を認めません。

前立腺水蒸気治療のイメージ図



デバイスを用いて水蒸気を前立腺内に噴霧し、組織を壊死させることで前立腺を縮小させます

- 入院は原則 1 泊 2 日 外来手術も可能
- 抗血栓薬継続でも可能
- がんターミナル期の方でも可能